



## 始業式 式辞

今年も、この学び舎に春がやってきました。今年は3月が寒かったため、桜の花がちょうど見ごろとなっていて、気持ちの良いスタートとなりました。午後に入學する1年生140名を入れた446名の生徒と、50名の先生方が、竜洋中学校を昨年度以上の素晴らしい学校にするために力を合わせる日々が始まります。

先ほどは、2年生を代表して栗田惺徠さん、3年生を代表して鈴木大河さんが、新年度の決意を力強く述べてくれました。生徒の皆さん一人ひとりが新年度に向けて気持ちを新たに、希望を胸に抱いていることと思います。今のその気持ちを1年間、大切にしてください。今年度新たに竜洋中に赴任した先生方も含め、私自身も皆さんと一緒に学べることをとても楽しみにしています。

さて、竜洋中学校の学校教育目標は「未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成 ～持続可能な社会の創り手を育む～」です。この学校に着任してから会議の中で、「SDGs」の話の繰り返し聞いています。皆さんも当然、授業や生徒会活動の中でこのワードは何度も耳にしていると思います。そんな皆さんですから、きっと2030年度に達成を目指す17個の目標は頭に入っていると思います。例えば、目標の5は「ジェンダー平等を実現しよう」目標の10は「人や国の不平等をなくそう」ですね。

このSDGsのゴールは何なのでしょう。目標にある「平等の実現、不平等をなくそう」というとどんな世の中を皆さんは想像するのでしょうか。頭に思い描いてみましょう。

校長である私が思い描くゴールは「ここにいる皆さんを含めたすべての人たちの幸せであり、笑顔あふれる社会の実現」だと考えます。皆さんが幸せに笑顔で暮らせることで、持続可能な社会が実現するのではないのでしょうか。2030年まであと6年です。このゴールに向かうために、先生方も皆さんと一緒に脳みそにいっぱい汗をかきながら、持続可能な社会を創り上げるための学習を進めたいと思います。

最後に446名の生徒の皆さんと私たち50人の教員がわくわくしながら一緒に楽しく学ぶために一つお願いがあります。

それは「自分と周りの人の存在・命を大切にしたい」ということです。人と人が生活するうえで、周りの人と上手に関わりあうことはとても大切なことです。意見の合う人もいれば、合わない人も必ずいます。いろいろな考え方の人がいること、それを授業や行事、部活動などを通して学び、助け合いながら、お互いに高めあってください。R5・6年の生徒会のスローガンである「協竜」にも、恐竜のような大きな器で、お互いを大切に認め合うような空間を作っていきたいと掲示されていました。昨日、廊下を歩いてこの言葉を見つけ、とても感激しました。今日から1年間、皆さんとこの思いを共有しながら新しい竜洋中をスタートさせましょう。



## 入学式 式辞

木々の緑が目に見えて濃くなってまいりました。花々も一斉に咲き出し、この豊かなる岡に、また命が輝く春が訪れました。

その善き日に、磐田市長 草地 博昭 様、磐田市教育委員会 森下 昌司 様、磐田市議会議員の皆様、学校運営協議会委員の皆様、PTA役員の皆様、並びに保護者の方々の御臨席のもと、令和6年度入学式を無事挙行できますことに、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

140名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先ほど名前を呼ばれ、大きな声で返事をする皆さんの態度は大変立派でした。中学生としての自覚と決意を感じました。竜洋中学校の総ての先生方、そして先輩たちが、皆さんの入学を歓迎します。

新入生の皆さん、私も皆さんと同じ竜洋中学校一年生です。教員になって初めてこの竜洋地区の学校に勤めることになりました。そこで、私も皆さんと一緒にこの中学校に一日も早く慣れ、地域のことや竜洋中の歴史などを学んでいきたいと考えています。

さて、この竜洋中学校のことを皆さんに少し紹介します。まず、竜洋中学校の学校教育目標ですが、「未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成 ～持続可能な社会の創り手を育む～」です。持続可能な開発目標であるSDGsという言葉は皆さんも聞いたことがあると思います。2015年に国連がこの目標を定めたことに着目し、竜洋中も令和2年度からこの教育目標に沿って教育活動を進めています。この持続可能な開発目標のゴールは何なのか、というと「皆さんを含めたすべての人たちの幸せであり笑顔あふれる社会の実現」だと私は考えています。

皆さんは、自分や周りの人たちが笑顔で幸せに暮らしていけるような社会を創り上げること、その方法をこれから本校で学んでいくことになります。そのためには、今の世の中の事（もちろん日本だけでなく世界のことも含めます）を学ぶことは勿論のこと、皆さんが暮らすこの地域のことやその歴史を学ぶおくことも大切です。未来の社会を担う皆さんは、今の世の中がどうやって成り立って今の姿になったのかを知ることも必要なのです。

皆さん、ステージの方向を見ましょう。ステージの周りにこの竜洋中学校ができた77年前から変わらず伝わっているものがあります。何かわかりますか。

校訓、校歌、校章です。この地に竜洋中学校ができたとき、当時の「掛塚町」「十束村」「袖浦村」「長野村」の人たちは4町村で「中学校組合」というものをつくって、中学校を創立することを決めました。校章の四角形は「この4つの町と村が協力して地域の子供たちを育てていこう」という意味が込められていると聞いています。

その当時から昨年まで77年間で、19,000人以上の卒業生を出した歴史と伝統のある中学校なのです。みなさんも気づいたと思いますが、教室から体育館までの間にあるトロフィーや賞状からも本校の歴史の重みを感じます。今、実際に見えているものだけでなく、過去を振り返って学ぶことも、持続可能な社会を創り上げるためには必要なことです。皆さんが先生方だけでなく、お家の人や地域の方と一緒に学びあい、高めあいながら成長していくこと、未来社会の創り手と育っていくことを心から期待しています。

保護者の皆様、お子様のご入学、心よりお祝い申し上げます。多感な思春期を迎え心身共に大きく成長する時期でもあり、将来の夢の実現に向けての基礎となる貴重な3年間になります。子供達の成長のために私ども職員一同、支援者の立場として全力で教育を行ってまいりますので、私どもと力を合わせていただけますよう、御協力をお願いいたします。お子様のことでご心配なことがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。

新入生の皆さん、皆さんが、これから一日一日を大切に、すばらしい中学校生活を送ることができていることを期待して、式辞といたします。